

平成26年度 対馬市環境スタディーツアー 受入・対応 報告書

平成26年9月1日

宇部市地球温暖化対策ネットワーク(UNCCA)では、宇部市環境政策課と共に長崎県対馬市より『親子で環境スタディーツアーin 宇部市』の一行を受け入れて、2泊3日のスケジュールで宇部市の環境関連のさまざまな事柄を学んで頂く事業を推進しました。本報告書はその対応諸業務の概要を報告するものです。

1. 受入日時

日時 : 平成26年8月21日(木)~23日(土)

2. 対馬市のツアー者(敬称略)

引率者 : 対馬市総合政策部 市民協働・自然共生課 阿比留係長、新宮主査
対馬空港ターミナルビル(株)エアトラベルつしま 永富マネージャー
ツアー参加者 : 14名(3~6年生の小学生とその保護者のペア- 7組)

3. 受入側対応者(敬称略)

宇部市環境政策課 : 谷口副主幹、岡本係長、荒木課員、水野(山大インターンシップ生)
UNCCA : 太田
ふるさとコンパニオン: 協会長、大塚
宇部フロンティア短大 : 彌益、中谷
まちづくりサポーター : 椿、江嶋
交流会参加者 : 7名(昨年度対馬スタディーツアーに参加した小学生5名+その親2名)

4. スケジュール・旅程概要

スケジュール・旅程は、概略以下の日程で実施されました。

8月21日(木)	11:05	新山口駅到着(UNCCA 出迎え)
	12:00	ときわ公園湖水ホール到着(受入側全員で出迎え) (昼食)
	12:50	歓迎式典開始。引き続き、2班に分かれて電気自動車に乗車し、 以下の順路でときわ公園内におけるスタディーツアー開始 風力発電設備→ミニ動物園巡回→バックヤード見学→石炭記念館 屋外彫刻観賞→石磨き体験→熱帯植物園にて植物探しゲーム
	15:50	宇部市長の歓迎の挨拶及び『蟻の城』前にて記念写真撮影
	16:10	ときわ公園出発
	16:30	宿舎(ココランド)到着
	18:30	夕食
8月22日(金)		産業観光ツアー／大人の社会派ツアーの《セメントの道》のほぼ逆ルートを 辿り、以下の時間割で見学しました。
	8:50	宇部興産(株) UBE-i-Plaza 見学 (宇部興産工場群、宇部興産大橋、宇部興産道路を經由して)
	9:45	ダブルス・トレーラー整備場見学
	10:35	伊佐セメント工場及び採石場見学

	11:45	昼食
	13:00	秋芳洞(黒谷口より入場)見学
	14:00	秋吉洞出場、カルストロード ドライビング
	15:15	宿舎到着
	15:30	希望者のみホテル内のプール遊泳
8月23日(土)	8:30	宿舎出発(宇部市職員、UNCCA職員 見送り)

・第1日目の主な行動・出来事

- ① 一行は飛行機、新幹線を乗り継ぎ、11時過ぎに新山口駅に到着しました。
- ② UNCCA担当職員が新山口駅に一行を出迎えた後、宇部市営バスにてときわ公園に向かいました。湖水ホール前でときわ公園勤務の市役所職員も含めて、受入側関係者全員の拍手による出迎えを受けて、一行はそのまま地下のレストランでバイキング形式の昼食へと向かいました。
- ③ 昼食後、簡素なスタディツアー開始の式典を行い、その後、宇部側から参加した親子7人も交え、2班に分かれて電気自動車に乗車し、ときわ公園内の巡回ツアーへと向かいました。風力発電設備の説明では、風車前の木陰でレンズの機能や特徴の説明を受けました。また、太陽光発電と共に再生可能エネルギーの普及に取り組む姿を学びました。
- ④ 次に訪れた開園前のミニ動物園の見学では、カピバラの習性や、チリーフラミンゴの生態などの説明を受けると共に、ニホンザルのボスを中心とする身分社会や食べ物などについても学びました。
また、動物園リニューアル推進室の案内で工事中の動物園のバック・ヤードを見学しましたが、自然環境に近いおさるさんの飼育ゾーンや、工夫を凝らした見学通路に感心しました。
- ⑤ 石炭記念館では宇部の歴史に深い関わりのある石炭の話聞きながら、関係施設を見学して展望台でときわ公園や宇部のまち全体の眺望を楽しみました。
- ⑥ 巡回途中の休憩時間にはミュージアム前に特設されたよしずの下でまちづくりサポーターやその他の方々による冷たいお茶と宇部元気ブランドのゼリーの接待を受けながら、彫刻を模した石磨き体験をしました。
- ⑦ ときわミュージアムではふるさとコンパニオンの方々から、大地からニョキニョキと生えた様な丸い石が鉄の棒の頭についた作品(「石の華」)が人と自然、人と環境、人と人の繋がりをイメージしていると説明を受けて、様々な想像を膨らませました。また、『Our Love』、や『サイン』と言う作品などの解説も受けた後、緑と花と彫刻の博物館賞受賞作の『じいちゃんの鼻の穴に宇宙があった』という彫刻作品の鼻の穴を順番に覗き込んで観賞しました。
- ⑧ 野外彫刻の鑑賞の後、久保田宇部市長が来場され、ミュージアム内の第2企画展示ホールで、自らが昨年対馬を訪れた経験を交えた熱い歓迎の挨拶を受けました。
- ⑨ 第1日目のすべての見学・学習を終え、宇部市内黒岩の宿舎に向かい、宇部側の有志も加わった和やかな懇親の場が繰り広げられ、雨天が懸念された第1日目の行事が晴天の中、無事、終了しました。



風レンズ風車の説明風景



電気自動車での園内移動風景



彫刻の鼻の穴を覗き込んで



スカイダンボに乗って空から見学



久保田市長を囲んで“蟻の城”前で記念撮影



熱帯植物園で植物探しゲーム中

第2日目の主な行動・出来事

- ① 第2日目は生憎の雨天の中、宇部興産(株)のUBE-i-Plazaの見学からスタートしました。プラザでは“石炭産業からスタートして、総合化学企業へ歩んできた宇部興産の歴史や汚泥、廃木材、廃プラスチック、廃油、石炭灰など様々な廃棄物をリサイクルして工業製品化して社会に貢献して姿を学びました。
- ② プラザを出て、宇部興産の化学工場、セメント工場、発電所、コールセンターなどの工場群を車中からゆっくりと見て回り、バスの窓を開けてセメントキルンの熱さを体験しました。また、工場内道路の広さやその道路に市バスの停留所があるのに驚かされました。
- ③ 宇部興産大橋を渡り、専用道路に入り、すぐにダブルス・トレーラーの整備場を見学しました。見学時に今迄降っていた雨が一旦止んで、屋外で70トン積みのダブルス・トレーラーの説明を受けることが出来ました。説明を聞いた後、トレーラーの運転席に乗り込んで写真を撮ると共に、トレーラーをバックに全員で記念写真を撮りました。
- ④ 整備場を出て、何台かのダブルス・トレーラーとすれ違い伊佐セメント工場に到着。工場案内者と共に、車中からセメント工場のセメントキルンや発電所を見学し、最後にセメント原料である石灰石の採石場を見学しました。採石場でバスよりも大きなダンプトラックが小さく見える程大きな穴が階段の様に掘られていて、底には真っ青の雨水がたまっているのが見え、スケールの大きさと美しさに目を見張りました。
- ⑤ バスは工場を出て秋吉台に向かいました。車中では、秋吉台の地形がどの様にして出来たのか、エスコーター手製のイラストで説明を受けました。車中で昨夜来の大雨により、秋芳洞は正面入口からの入場が不可能との情報に接し、見学が危ぶまれましたが、“黒谷口”からは入場も出場も可能というので黒谷口へと向かいました。
- ⑥ 黒谷口からマリア観音、岩窟王、大仏岩、黄金柱、千畳敷、傘づくし、千町田へ時々天井からのしずくをかぶりながら洞内の主だった場所を見て行き、千町田で引き返し約1時間の秋芳洞見学を終えました。
- ⑦ 秋芳洞を後にして、次は秋吉台の眺望を楽しむべくカルストロードへ向かいました。秋吉台カルストロードは、秋吉台国定公園の中のカルスト台地を走る約10Kmの道路です。当日の秋吉台は草原の“緑”が雨上がりの太陽に映え、日頃から緑に慣れ親しんでいる対馬の皆様にも美しい印象を持って頂いたようです。
- ⑧ カルストロードを“大正洞”に抜け、小郡萩道路を経由して、宿舎に到着したのは15時を少し過ぎた頃でした。
- ⑨ 出来る事なら宿舎内のウォーター・スライダー付きのプールで泳いでみたいと期待していた皆さん方にとって予定していた見学コースを順調に消化して、ほぼ予定通りに帰着出来た事は、大きな喜びとなりました。一行の皆さんの内、希望する方々は、早々と水着に着替え、5時頃まで遊泳を楽しんだ後、今度は6時からバーベキューを楽しんで第2日目の楽しい一日を終えました。
大雨警報や雷警報が出ている中での見学ツアーとなり、出発の時は雨模様でしたが、ダブルス・トレーラー整備場、石灰石採石場、秋芳洞、カルストロード、そして宿舎のプールと、主だった行事には嘘のように天気にも恵まれ、その幸運を皆で喜びました。



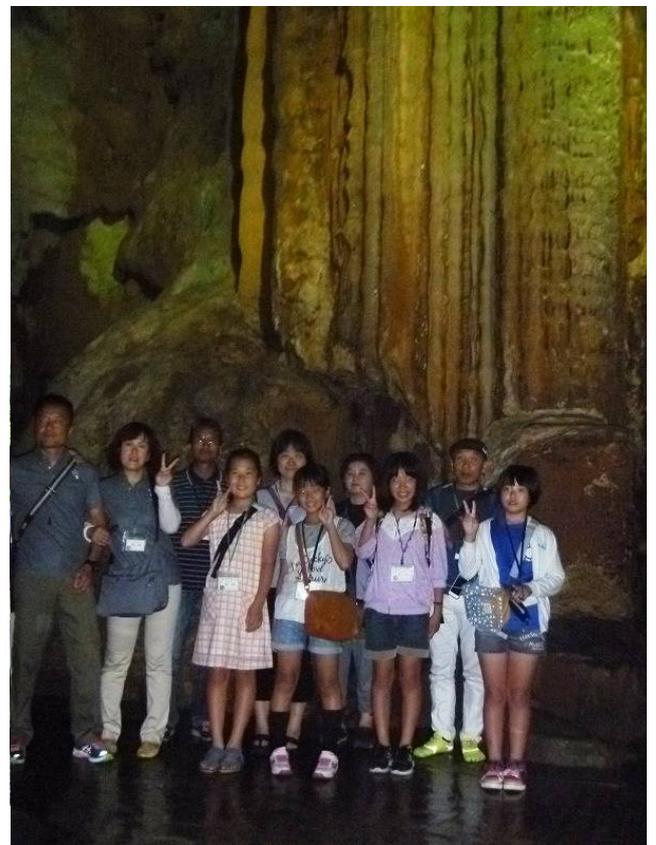
UBE-i-Plazaにて



ダブルス・トレーラー整備場にて



伊佐セメント工場採石場にて



秋芳洞・黄金柱前にて



出発前の宿舎前 記念写真

第3日目の主な行動・出来事

第3日目は、8時頃に宿舎のロビーに宇部市職員の方々及び UNCCA 職員達が参集し、対馬市一行の方々から受入れに対する感謝の挨拶を受け、予定通り8時半に皆さんの見送りを受けてバスは福岡空港に向かいました。